

2022 年度数理経済学会 評議会議事録

日時：11月5日（土）18:00～18:30

場所：経済研究所本館1階第二共同研究室

出席者（敬称略）：原、鈴木、細矢

委任（敬称略）：新井、武藤、本多、胡、神谷、上東、小宮、二神

欠席（敬称略）：尾崎

議題：

1. 2022 年度事業報告

(a) 船木理事より関東地区セミナー2022 年度活動実績（及び予定）に関して（会議前に）以下の報告があった。

日時（予定）2022 年 12 月 16 日（金）16:30～18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 704 教室

報告者 高橋裕希 (European University Institute)

題目 “Gender Differences in the Cost of Corrections in Group Work”

日時（予定）2022 年 12 月 9 日（金）16:30～18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 704 教室

報告者 Jonathan Wei Xiong Ng (Nanyang Technological University)

題目 未定

日時 2022 年 8 月 5 日（金）16:30～18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 909 教室

報告者 Di Feng (University of Lausanne)

題目 “Top trading cycles based mechanisms for multiple-type housing markets”

日時 2022 年 7 月 15 日（金）16:30～18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 704 教室

[Session 1]

報告者 Wael Bousselmi (Ecole polytechnique)

題目 “How do markets react to (un)expected fundamental value shocks? An experimental analysis”

[Session 2]

報告者 Ali Ozkes (EMLV business school)

題目 “Polarization in Networks: Identification-alienation Framework” (joint work with Kenan Huremovic (IMT Lucca, Italy))

日時 2022年7月8日(金) 16:30~18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館704教室

報告者 Matias Nunez (Ecole polytechnique)

題目 “Trimming extreme reports in preference aggregation”

日時 2022年7月1日(金) 16:30~18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館704教室

報告者 Alina Velias (The London School of Economics)

題目 “The ignorance trap: who falls prey to expert-defying populism and why”

日時 2022年6月24日(金) 16:30~18:00

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館704教室

報告者 Charles Noussair (The University of Arizona)

題目 “Don't tell anyone I lost to a girl! Gender stereotypes and hiding low performance”

(b) 浦井理事より近畿地区セミナー2022年度活動実績に関して(会議前に)以下の報告があった。

数理経済学会方法論分科会 特別シンポジウム(日本ホワイトヘッド・プロセス学会 第44回大会シンポジウム:数理経済学会・日本ホワイトヘッド・プロセス学会共催)

『経済のリアリティと医療/近年のパンデミックと死と生にまつわる「具体性の置き換えの問題を巡って」』

日時 2022年10月1日(土) 15:00~17:00

場所 大阪大学 豊中キャンパス 文法経講義棟41番教室(オンライン並行開催)

報告者1 小林大介氏(神戸大学大学院医学研究科特命准教授)

報告者2 森井大一氏(日本医師会総合政策研究機構主任研究員)

報告者3 村上裕美氏(追手門学院大学経済学部専任講師)

討論者 塩谷賢氏(早稲田大学)、守永直幹氏(宇都宮大学)

司会 浦井憲(大阪大学)

(c) 本年度の年次研究集会は11月5日(土)～6日(日)の日程で京都大学経済研究所会議室(106号室)にて開催された。

(d) 学会誌：神谷委員長より(会議前に)以下の報告があった。

(d-1) 2022年3月に、数理経済学会誌(Communications in Economics and Mathematical Sciences)創刊号がJ-Stageより刊行された。

(d-2) 2023年3月の第2号刊行に向けて準備中。

(e) 数理経済学叢書：武岡叢書編集委員会幹事より(会議前に)以下の報告があった。

(e-1) 継続案件 「マクロ経済学」三野和雄先生

今年の3月末に三野先生に進捗状況を確認するメールに対して「主要部分はできているが、加筆・修正に手間取っているとのこと、できるだけ急ぎたい」という返答であった。

(e-2) 新規案件

今年度は昨年度確認した編集方針に沿って、候補者リストにしたがって依頼を行なっている。現在理論系のテーマにて、担当委員を通じて一人の候補者に連絡を取っているところであるが、「どうするか少し検討したい」とのことであったので、いましばらく時間がかかる模様である。従って現在のところ、新たに決定した案件はない。

2. 2022年度決算

2022年度決算の見とおしが別紙資料に基づいて報告された。

3. 2023年度事業計画・予算

2023年度事業計画・予算が別紙資料に基づいて報告された。

4. 会員数の増減

新規会員3名(本年度評議会後を含む)：会員数118名(うち一般会員111名 学生会員7名)

5. 叢書編集委員、学会誌委員の再任及び新任の件

2022年度の叢書編集委員は以下の方々である(敬称略)：

武岡則男(一橋大学)1期2年目(幹事)

神谷和也(神戸大学)1期2年目

中川秀敏(一橋大学)1期2年目

グレーヴァ香子(慶應義塾大学)1期2年目

斉木吉隆(一橋大学)1期2年目

林貴志(University of Glasgow)1期2年目

2022 年度の学会誌編集委員は以下の方々である（敬称略）：

神谷和也（神戸大学）1 期 2 年目

葛城政明（大阪大学）1 期 2 年目

小宮英敏（慶應義塾大学）1 期 2 年目

佐柄信純（法政大学）1 期 2 年目

武岡則男（一橋大学）1 期 2 年目

野口光宣（名城大学）1 期 2 年目

林貴志（University of Glasgow）1 期 2 年目

原千秋（京都大学）1 期 2 年目

船木由喜彦（早稲田大学）1 期 2 年目

武藤功（防衛大学校）1 期 2 年目

(a) 神谷先生が本年度をもって CEMS の Editor in Chief と学会誌編集委員長の職を辞する旨を申し出られ（但し後述のように編集委員としては再任）、評議会としてこれを了承した。それに伴って新たな Editor in Chief を選任しなければならないが、それについては近く学会誌編集委員会が開催され協議されることになっている。

(b) 学会規約第 30 条によれば、数理経済学会誌編集委員は評議会で選任されなければならないが、過去の評議会の議事録には選任された記録がない。そこで再任可能な委員はすべて再任とする旨の原案が提出され承認された。なお上記の任期は、学会誌第 1 号が発刊された 2022 年 3 月（2021 年度）が初年度に当たるとして定めた。

6. 2023 年度役員の変更

中川秀敏先生（一橋大学）に 2023 年度より（広報・渉外担当）理事及び副会長・評議員職に選出し、また井上朋紀先生（明治大学）に同年度より（機関誌担当）理事・評議員職に選出することが承認された。その後中川先生、井上先生からともに就任承諾の回答を頂いた。

7. その他

(a) 作成から 10 年を経た学会関係書類の廃棄に関する件について審議されたが、これらの処理は当分の間廃棄せずに保管することが承認された。

(b) 昨年度の評議会においてある委員から学会の日本語名を「日本数理経済学会」としてはどうかという提案があったが、審議の結果、学会の日本語名は当面は変更しないことが承認された。

(c) 学会 HP 等のサーバーの今後の設置場所について審議されたが、この件は会長に一任することが承認された。

以上

署名人署名欄

原 千秋	鈴木岳
------	-----